

経済の成長・発展部会
委員 安田 千尋

経済の成長・発展部会への提案

■移住・定住について

移住支援窓口への相談者だけでなく、結婚等による理由で移住してきた人達への支援が必要と考えます。

潜在する移住者は結構多く、情報も不足しており孤立しがちで、出産をした後、子供を介して初めて地域と繋がるようなケースもあります。

私自信がIターン者ですが、転入届けを出した際に「どんな地図でも良いので、倉吉市の地図が欲しい」と希望したところ、「ありません」の一点張りの回答でした。土地勘もなく、観光の地図でも何でもよかったし、どこに地図が置いてあるかを教えてくれるだけでも良かったのですが、非常に不安な思いと同時に、本当に移住定住に力を入れているのか、と疑問に思ったものです。

まずは生活するための基本的情報だとか、そういった資料は既に作成しておられるので、窓口で県外からの転入者には資料の配布についてひと声お声掛けをすとかできると思います。

また、移住者同士で集まるのも良いですが、移住者が地域に根付くように移住者×地域(住民)のきっかけ・場を作ってはいかがでしょうか。支援窓口の相談者だけでなく、そこから漏れる人たちこそ本当に支援すべきだと思います。

■働く女性への環境について

子育てしてフルタイムで働いて、仕事以外で学びたくても定期的に時間が取れなかったり、突発的に子供が熱を出したりして、地域の勉強会や公開講座などに行きたくても行けないことが多々あります。

有料でも構わないのでインターネットで学習や講座に参加できるようなシステムがあれば良いと思います。

■出産の環境について

「子育て王国」と謳っているのに、その大前提となる産婦人科が2施設しかありません。病院の誘致とかは難しいかもしれませんが、強く希望します。

また、不妊治療で病院へかかっている人は本当にたくさんいます。不妊治療を得意とする病院を誘致、また麻田委員が提案されたように不妊治療無料化が現実となれば移住者は確実に増えると思います。

■観光について倉吉市としての方向性

観光について色んな切り口で商品を作り出していくことは可能であると思います。ですが、倉吉市としての方向性、大きな柱が欲しいです。

例えば、「高齢者が住みやすいまち」倉吉市としてPRしていく、ということであれば観光商品の一部はそのテーマに沿ったもので企画したいと考えております。まずは明確なビジョンが欲しいです。

■観光についての細かい提案

・農業・林業の受け入れ施設、体制を整える

家族などのパーソナルの受け入れも良いのですが、ターゲットをグループ単位の、例えば学生のサークルや新入社員研修などに絞ってしまった方が良いと思う。

→就活や社会生活に役立てる、とPR

もしくは、修学旅行等の受け入れ可能施設と上記施設を明確に分けてPRする。

・年間を通じて農林業、または文化体験の何らかの体験ができるように

農業の一つのプランを体験するには期間が限られています。

年間カレンダーのような体験ものを網羅した印刷物を作成してはいかがでしょうか。

希望する体験と休暇の日程が合わないこともあるし、これでは間口が狭く利用者が伸びないと思います。

旅行を予定している期間に合う体験を探す、という方法で市内や近隣温泉地の宿泊施設に印刷物を置いてもらえれば利用者が伸びるのではと思います。(ただ、前日まで申込みが可能など締切条件等をクリアする必要があります)

・サバイバルキャンプ in 関金 ～婚活事前講習 モテる男子に～

女子に選ばれるのはサバイバル能力のある男子です。最近は草食男子が多いので、婚活の前に予習として「生き抜く力」や「応用力」を養うことのできるサバイバルキャンプを実施。

その後、婚活パーティーを実施することで継続的に結婚まで支援。

女子のサポートも良いですが、女子に選ばれる男子を育てるような企画も面白いと思います。

婚活予習(サバイバルキャンプ)→婚活パーティー→(成婚の場合はお祝い金などあれば)

→子育て支援・・・とつながればと思いますがいかがでしょうか。

・廃線トレッキングの延伸/見直し

根強いトレッキングの人気と、鉄道遺産への関心は継続して高いままです。

コースの見直しや他地域との連携、宿泊と組み合わせるような企画を考えたいです。

・ウォーキングコースの充実

上記廃線トレッキングに加えて打吹山や国庁跡トレッキングなど。

シルバー層の団体客からは1時間の街歩きがきつい、との声もあるので、

「歩かないまち歩き」といった20分程度のガイド案内コースを企画したいと考えております。

・こどもマップの作成

子供目線の楽しいポイントが載ったマップの作成。

「未来中心の噴水はシャワーみたい！着替えとタオルを忘れずに」や「上灘公園には赤ちゃんブランコがある！」とか、

コアなポイントが載っているもの。→家族連れで帰省した方は観光案内所で「子供が遊べる場所はないか」との質問がよくあります。

また、子育て世代の移住者に利用してもらえと思います。合わせて子供用トイレやおむつ交換台などの記載も必要かも。

・関金を中心としたサイクリングコース